

健康福祉教育委員会 行政視察報告書

【視 察 日】 令和5年1月23日（月）～1月24日（火）

【視察委員】 大石保幸委員長、八木勝副委員長、さとうまりこ委員、大石心平委員、油井和行委員、山根一委員、遠藤久仁雄委員

【視 察 先】 広島県福山市、滋賀県湖南市

≪ 1月23日（月） 広島県座福山市 ≫

【調査事項】 「きらりルーム」の取り組みについて



① 市の概要

広島県東部に位置し、面積は518.14 km²、人口は約455,000人。平成10年に中国・四国地方で2番目の中核市に指定された。世界最大級の銑鋼一貫製鉄所があり粗鋼生産量が日本一の重工業都市。昨年築城400年を迎えた福山城は現在もイベント開催中。中国地方では広島都市圏、岡山都市圏に次ぎ非県庁所在地の都市圏としては全国5番目の規模の福山都市圏の中心都市。

② 取組の経緯・内容

各学校は、全ての子どもたちが毎日笑顔で元気に登校し、日々の授業を中心とした教育活動を通して、21世紀型“スキル&倫理観”の育成に向け取り組んでいた。

欠席が多い児童生徒へは、担任が中心となって家庭訪問を実施したり、福山市フリースクール“かがやき”等の関係機関と連携したりするなど、登校に向けた取組を進めている。

長期欠席者ゼロを掲げ、欠席者数の多い6つの中学校では平成30年度から、小学校は2校を平成31年度から、校内に新たな居場所として「きらりルーム」という、通常のカリキュラムに縛られず興味のあることから取り組むことが出来る教室をつくった。

専任の担任として、学校支援員を配置し、本人や保護者の願いを聞きながら、一人一人の状況に応じた取組を進めている。

③ 今後の課題

チームとしての支援体制やしくみ、生徒の見取りからどの支援方針を選択すべきかなど、教員の意識・スキルにアプローチできる研修の設定。

教員の手の及びにくい領域において、行政と連携し、心理や社会福祉などの専門的なスキルを持ったスペシャリストや組織と協働支援が行えるしくみが必要。

④ 本市に反映できると思われる点

令和4年4月から、義務教育学校・イエナプラン教育校・特認校が開校していた。特にイエナプランは多くの視察が来ているとのことであった。今回の視察テーマではないが新たな取組みとして研究してみてもどうかと感じる。

また、フリースクールを、集団で学ぶ教室への復帰を目的としていないという点は大いに反映させたい点である。まだまだ学校に行くことや普通教室で学ばせることこそが最も大事と認識している保護者が多いなか、多様な学びの場を提供している点は反映されたい。

《 1 月 2 4 日（火） 滋賀県湖南市 》

【調査事項】 「楽しくて力のつく湖南市教育」の取り組みについて



①市の概要

滋賀県南部のほぼ中央に位置し、面積は 70.40 ㎢、人口は約 54,600 人。

東から西へ野洲川が流れ、野洲川に沿うように国道 1 号があり昔から東西交通の要衝となっている。江戸時代には、東海道 51 番目の宿場町である石部宿が栄えた。市域の 5 割強が山林であるが、交通基盤が整っていることから、京阪神の都市圏へのベッドタウンとして住宅開発が進んでいる。

②取組の経緯・内容

湖南市教育の根幹には、「子どもたち自身は、無限の可能性を持ち、自ら輝く存在そのものである」という信念が秘められている。この考えは、鳥取県生まれで社会福祉の実践家である「糸賀一雄」氏の考えに基づいている。湖南市教育のグランドデザインの中で、大きく掲げられているのは「生きる力の根っこ」である『自尊感情』の醸成である。この『自尊感情』を育むため、「学力向上プロジェクトによる学力保障」、「こころの教育の推進による仲間づくり」、「地域との協働によるふるさと意識の醸成」を取り組みの三本柱としている。このように授業づくりや各種の教育活動に成果を上げているが、特筆すべきは教育指導全般に於いて、人権に対する考えがしっかりと行き渡っていることだと感じた。

③今後の課題

外国ルーツのある児童・生徒への日本語指導の充実・たて・よこ・ななめに、すき間なく、どの子ももらさない支援体制づくり・就学前教育の充実・教職員の働き方改革と資質向上・教育委員会機能の強化・充実と子供の性格や、症状に対応できる取り組みや職員・教育委員会とまだまだ課題は山積しているが、こうやって課題を多く見つけ出せることが評価できる。

④ 本市に反映できると思われる点

本市の発達支援センターと教育部門とは今以上に連携していく必要があり、就学前の子どもをきめ細かく見つめ関係機関と情報共有していく取組みを反映されたい。

また、中高引き継ぎ会の実施など、義務教育終了後の相談支援体制が確立され、年数回の進学先高校への訪問も実施されているということで本市にも取り入れていくように検討願いたい。

湖南市では随分以前から実施されているようだったが高校生が中学生や小学生に、中学生が小学生に教える連携授業も実施されていたので検討願いたい。